

織物や工作に児童挑戦

総社・NPOアート教室

県立大生がボランティア

NPO法人総社商店
街筋の古民家を活用す
る会は24日、総社市総
社の旧堀和平邸で夏休

「裂き織り」に挑戦する小学生ら
みの子ども向けアート
教室を開いた。
裂き織り、金属工作、
写真など5講座を開設
し、総社、倉敷市など
から小学生16人が参加



「裂き織り」に挑戦する小学生ら

した。
裂き織りでは、同NPOの金丸由記子理事長が講師となり、着なくなったシャツなどの布を細く裂いて糸状にし、木枠に張った縦糸に折り込んでカラフルな壁飾りを作った。倉敷市立万寿小2年の榮惺晟君(7)は「織るのが難しかったけど、かっこいいのができた。部屋に飾りたい」と話していた。
教室には、県立大が2016年度に新設した「岡山創生学」のボランティア演習として学生14人が訪れ、子どもたちをサポートしながらNPO活動を体感した。
(古川和宏)